

R5.5.22 (月)

課題研報告会

小都中

佐々木 光男

〃

小関 英美

北塩原一中

土門 忠大

三島中

村松 和弘

本郷中

星 嘉人

会北中

鈴木 健太

湯川中

藤井 義朗

昭和中

五十嵐 由有

喜二中

神田 和幸

喜一中

井上 夏美

〃

蓮沼 美玲

裏磐梯中

大内 美苗

塩川中

木村 綾美

令和5年度 耶麻・両沼支部中教研国語専門部主題研修報告会

日時：令和5年5月22日（月）15:00～

会場：湯川村立湯川中学校

研究主題 言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成する指導はどうすればよいか。

副主題 令和4年度 知識及び技能の定着を図り、それを活用するための指導の工夫

令和5年度 思考力・判断力・表現力を育成する指導の工夫

令和6年度 国語における学びに向かう力の評価の工夫

【順序】

1 開会の言葉（副部長）

2 部長あいさつ

3 協議

(1) 県主題研修会報告（部長）

(2) 質疑応答

(3) 第1次研究協議会の持ち方について 資料（紙+データでも）、
湯川中（予定）7/26（水）午前のみ半日開催。

2次研…授業研究会？

4 その他

6 閉会の言葉（副部長）

県中教研総会報告（県総会資料参照）

1 令和5年度県中教研事業計画

2 令和4年度県中教研国語部予算

3 県中教研国語部組織

会 長 吉川 信夫（清水中 校長）

副会長 横田 和典（葛尾中 校長）

市川 恵子（石川中 教諭）

佐久間光児（山都中 校長）

総 務 菅野美由里（信夫中 教諭）

庶 務 丹治 美紀（福三中 教諭）

会 計 村越 健（信陵中 教諭）

4 令和6年度以降の県大会発表支部

・別紙「県大会」開催予定地区参照

・分科会発表については、R5 耶麻（1 学年）は確定、R6 以降については今後確認が必要

・耶麻麻・両沼支部は、R6 より統合することは報告済み

5 「ワークブック」について

・令和5年度 「国語スイッチ」編集作業あり

① 7・8月 編集委員会（編集委員） ② 9月・12月 編集・校正作業（常任編集委員）

1 福島県中教研国語専門部事務局から（別紙）

（1）主題について

- ① 授業者自身が、「社会の変化」と国語との関係に関心をもつこと
- ② 「言葉による見方・考え方」を自在に働かせること ※R4年度より継続

（2）副主題（思考力・判断力・表現力を育成する指導の工夫）について

- ① 活動を通してどのような資質・能力を育成するのかを明確にすること
- ② 三つの領域（話す聞く・読む・書く）において、自分の考えを形成したり、「共有」を通して考えを広めたり深めたりする学習過程を重視すること。

2 耶麻・両沼支部の研究の進め方について（別紙）

（1）主題について

- ① 国語科の目標「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」そのもの
 - ・ 正確に理解するという「読解力」
 - ・ 適正に表現するという「伝え合う力」

いわき支部は
「読むこと」
学習指導要領
↑
目の前の生徒の実態

② 副主題について・・・思考力・判断力・表現力を育成する指導の工夫

（ア）生徒の実態より、育成したい資質・能力を明確にして単元を構想する。

- ① 単元を構想するにあたって、学習指導要領の各領域の内容に示される「**考えの形成**」「**共有**」に関する項目から焦点化する。

（イ）研究の視点イ「課題設定の工夫」、視点ウ「言語活動の工夫」を中心に、具体的な手立てを設定し授業を組み立てる。

- ① 研究の視点ア「指導計画・評価計画・評価方法の工夫」に取り組んでもよい。

（ウ）県研究協議会での研究協議Ⅱ（各支部の取組）での発表（1学年分科会）を意識して実践をまとめ、夏の協議会で報告し合う。

（エ）県大会出席者は、夏の協議会での内容から耶麻・両沼支部の取組として資料をまとめ、県協議会に臨む。

3 各支部から（抜粋）

- 県大会は、いわき市立平第一中学校で**参集型**実施予定。研究協議も、Ⅰ：提案授業に関する協議Ⅱ：各支部の取組に関する協議の内容で検討中。
- 「読むこと」領域で授業案を検討中。教材が決定次第、各支部に連絡する。
- 各支部とも、研究の視点は「イ 課題設定の工夫」「ウ 言語活動の工夫」が多い。

4 協議より

- 各支部の状況（学校数・生徒数・生徒の実態、会員数・地理的条件・・・）に応じた実践的な研究を！
- 参加した会員の先生が、「参加してよかった」と思えるような研修の機会に！

1 研究主題について

言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成する指導はどうか。

- 言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育む
日常生活から社会生活へと活動の場を広げる中学生が、言葉を通して社会の変化に気づいたり、言葉を用いて社会の変化に対応したりする姿勢を育むこと。
- 思いや考えを伝え合う力を育む
人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力の育成を目指すこと。
実践にあたっては、「授業者自身が『社会の変化』と国語との関係に関心を持つこと」を意識して研究・実践していきたい。また、令和5年度以降も、生徒が様々な場面で「言葉による見方・考え方」を自在に働かせることができるように指導していくことが重要である。

2 研究副主題について

思考力、判断力、表現力等を育成する指導の工夫

(1) 思考力、判断力、表現力等を育成する指導の在り方について

学習指導要領に示されている「思考力、判断力、表現力等」に関する目標は、「社会生活における人との関わりのなかで、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。」である。「伝え合う力を高める」とは、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して正確に理解したり適切に表現したりする力を高めることである。また、「思考力や判断力を養う」とは、言語を手掛かりとしながら、論理的に思考する力や豊かに想像する力を養うことである。思考力や想像力などは、認識力や判断力などと密接に関わりながら、新たな発想や思考を創造する原動力となる。そのため、こうした力を未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」として育成することが重要である。

実践にあたっては、主に以下の2点が重要である。

- ① 活動を通してどのような資質・能力を育成するのかを明確にすること。
- ② 全ての領域において、自分の考えを形成したり、「共有」を通して自分の考えを広めたり深めたりする学習過程を重視すること。

単元の構想を練る際には育成したい資質・能力を明確にし、それらを身に着けるためにどのような言語活動を行うのか、学習評価はどのようにするのかなどをしっかり考えておく必要がある。

また、「思考力、判断力、表現力等」の内容は、「A 話すこと・聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」からなる3領域の構成となっている。さらに、内容の内容の(1)に指導事項を、内容の(2)に(1)の指導事項を指導する際の言語活動例をそれぞれ示している。これらの言語活動を行う上で重要な鍵となるのが、「共有」である。他者の考えやその根拠、考えの道筋などを知り、共感したり疑問をもったり自分の考えと対比することを通して、学びを深めていけるような実践を行いたい。

(2) 研究の視点

研究の視点としては、次のア～ウの視点から、研究したい視点を選んで実践する。その際、授業者がどういう手立てで研究主題に迫るのかを必ず明確にすること。

- ア 言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成するための指導計画・評価計画・評価方法の工夫
- イ 言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成するための課題設定の工夫
- ウ 言葉を用いて社会を見つめ、自ら関わろうとする姿勢を育み、思いや考えを伝え合う力を育成するための言語活動の工夫

R5 耶麻・両沼支部国語部一次研の運営について

令和5年 5月 29日

金山中学校長 野口 幸哉 様
(

発信元：(山都) 中学校

発信者：(佐久間光児) 電話 0241-38-2056

実施日時：令和5年 7月 26日(木)曜日 (9:30) ~ (12:00)

部会名	参加者人数	指導助言者	発表者等	会場	備考
耶麻(国語) 両沼(国語)	13名	※1 会津教育事務所 指導主事 荒川 真彦	各校会員	※2 湯川村立 湯川中学校	各校実践発表 県協議会提出資 料の検討

※1 中教研耶麻支部長(喜多方二中佐藤校長先生)には、国語部としての意向を伝えてあります。

※2 耶麻・両沼支部の計画としては、耶麻支部主催となっていますが、会員の移動距離を考慮し変更したいと考えます。会場の湯川中学校長および耶麻支部長には打診してあります。

各専門部会出席者名簿

部会名（ 社会科 ） 会場校（ 坂下中 ）

【耶麻支部】

No.	氏 名	学校名
1	鈴木 憲	裏磐梯中
2	須田 夏子	塩川中
3	本多 康夫	塩川中
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏 名	学校名
1	齋藤 真琴	昭和中
2	小島 奈緒	本郷中
3	真壁 敬司	高田中
4	風間 達則	会津柳津学園中
5	須田 剛広	新鶴中
6	本多 康弘	新鶴中
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

○支部長あいさつ
○自己紹介
○専門部会報告
①主題・副主題について ②R5いわき大会について（参集型・地理的分野発表）
③全国大会運営費について
○主題研報告
①「持続可能な社会の実現」をポイントに ②副主題にある「多面的・多角的に事象を捉える」「考察する力」を視点の柱に ③「課題把握」「課題追求」「振り返り」
の各場面を工夫する
○支部研究の方向性
①県大会発表分野の地理的分野に絞って全員が実践研究を行う。試案でも良い
②単元構造図の検討 ③課題設定の工夫 ④資料の精選と活用 ⑤ICTの活用
○一次研の持ち方について（別紙 一次研の運営について）
○その他
①会計について ②Classroomによる情報提供（資料・授業実践など）

一次研の運営について

【 社会科 】 部会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	全 員 (中)	(中)
司会者	鈴木 憲 (裏磐梯 中)	(中)
記録者	須田 剛広 (新 鶴 中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	野中 伸也 様	所属 会津教育事務所
-----------	---------	------------

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所**以外の指導主事等**を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

	9:00	9:30		10:30		11:00		11:25	11:40
	9:20		10:40		11:05		11:30		
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (持参資料の発表及び それについての協議)	休 憩	部 会 指 導 助 言 (研究協議及 び進め方につ いて助言をい ただく)	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加 者、二次研に ついて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会

【今年度の一次研の日程】

	9:00	9:30		10:30		11:00		11:25	11:40
	9:20		10:40		11:05		11:30		
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (全員発表)	休 憩	部 会 指 導 助 言	休 憩	部 会 協 議 (県大会につ いて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会

※指導助言者の同席時間 (9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0)

各専門部会出席者名簿

部会名 (数学) 会場校 (坂下中)

【耶麻支部】

No.	氏名	学校名
1	五十嵐 清人	喜多方三中
2	高橋 哲郎	柳学中
3	真部 泰	本郷中
4	小笠原 優	喜多方一中
5	落合 伸一郎	"
6	佐藤 哲也	喜二中
7	宇川 純子	塩山中
8	一糸 勇輔	西会津中
9	齋藤 香緒理	喜三中
10	兼子 光子	"
11	小野 雄斗	裏磐梯中
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏名	学校名
1		
2		
3	坂内 香徳	柳学中
4	小野寺 華緒里	坂下中
5	山口 智	新鶴中
6	古川 麗香	三島中
7	永山 雄大	金山中
8	今井 仁	会柳学中
9	金道 律	坂下中
10		
11		
12		
13		
14		
15		

中教研 耶麻支部・両沼支部合同 数学部会 主題研修会報告会 記録

【日時】令和5年5月22日(月) 午後3時～午後4時

【会場】坂下中学校

【司会】真部 泰 (本郷) 【記録】今井 仁 (会津柳津学園中)

1 部会長あいさつ

耶麻支部 五十嵐(喜多方第三)

耶麻・両沼が一緒。来年は完全に一緒。

両沼支部 高橋(会津柳津学園)

昨年も合同開催で県大会授業を喜多方第一で。感謝。次年度から合同から統合し一支部として活動。

2 主題研修会報告 高橋(会津柳津学園)

カラー資料を提示します(事務局 付属中の小林先生)

p3 3つの提示 ○学び方改革 ○主題・副主題の捉えかた ○各支部の計画の共有

(1) 学び方改革

p8 中教研発足60年。趣意書～教員の資質を高めてきた。自主性が本来の形。60年たって中教研のあり方の改革が必要、私たちの学び方も変わる必要あり。

p15 実践例として板書を数学のネットコミュニティに投稿。質問や感想が相次ぐ。教師の学びもボーダーレスになってきた。

→中教研にもコミュニティの場を作っていく。Googleを使っていやっていく。その機能として

・Chat ・File ・Task Fileで24名の会員の皆さんに今回の資料を送り、共有しました。

p20 ハッシュタグ#をつけると検索しやすくなる。

P22 Taskは業務の見える化。個人的には使えるかは…。

まずはやってみる。

(2) 主題・副主題の捉え方

部報No.56による。6つの視点がある。

これに絞って取り組むという支部は無。また県(本部)で統一もしない。

p29 思考・表現・判断の実例を挙げてある

○ $\sqrt{\quad}$ の加法 ～形式的に計算するだけでなく、意味を考えた提示。ぐるぐる図(p32～33)

教科書の公式にただ当てはめるのではなく、現実の世界に適用していく大切さ

○ 円周角の定理～統合的発展的に捉える大切さ→発問や問いかけ

条件を変えて「～だったら…」と提示

○ 簡潔・明瞭・的確な捉え方～わかること、不十分なことを問いかけでブラッシュアップを図る。

○ 研究推進計画～報告(説明)を受けて各支部で考えていく。

-----以上、報告おわり-----

3 協議 司会:金道 律(坂下中)

(1) 研究の進め方

- ① 1次研 7月26日(水) 半日行事 会場未定(耶麻地区)
- ② 県大会(いわき開催)対応
 - ・両沼支部が2年部会で発表。耶麻支部も正会員で参加。



(提案1) 耶麻・両沼で2つの部会参加かどうか。2年部会と1年または3年部会でどうか。

(質疑) 今年は耶麻、両沼それぞれ2名ほど参加する必要ありか? (新鶴 山口)

(回答) 各支部1名でOK。

(意見) 両沼所属だがここ数年2年を担当していない。(坂下 金道)

(希望) 県大会に参加したい。(喜多方第一 小笠原)

(提案2) 名簿順に希望(2年、3年)を取ります。

(希望) 【2年】落合伸一郎(喜多方第一)、齋藤香緒里(喜多方第三)、曾根幹二(塩川)、
小野雄斗(裏磐梯)、一条勇輔(西会津)、今井 仁(会津柳津学園)、
山口 智(新鶴)、古川麗香(三島)、永山雄大(金山)

【3年】小笠原 優(喜多方第一)、佐藤哲也(喜多方第二)、兼子光了(喜多方第三)、
宇川純子(塩川)、小野寺華緒里(坂下)、金藤 律(坂下)、
坂内秀徳(会津柳津学園)、真部 泰(本郷)



希望学年ごとに分かれて協議

- ① 1次研の司会・記録 分担は耶麻支部
 - 【2年】司会:落合伸一郎(喜多方第一) 記録:一条勇輔(西会津)
 - 【3年】司会:佐藤哲也(喜多方第二) 記録:宇川純子(塩川)
- ② 1次研レポートの領域
 - 【2年】連立方程式の利用
 - ・試案や実践例 ・指導過程、成果と課題
 - 【3年】図形領域
 - ・試案 ・視点はウエオ
- ③ 2次研の会場は両沼支部
 - 授業:本郷中1年(真部 泰)
 - 記録:小野寺華緒里(坂下)、司会:坂内秀徳(会津柳津学園)

4 その他

- ・「数学の友」編集の意見 採用している学校から意見聴取(GoogleFormで回答)
- ・令和6年度の県大会(数学会)が耶麻・両沼で開催を検討。

一次研の運営について

【 数学 部会 】									
1 一次研役割分担等の確認									
発表者	参加者全員				(中)				
司会者	2年部会 落合伸一郎(喜多方第一)				3年部会 佐藤哲也(喜多方第二)				
記録者	2年部会 一条勇輔(西会津)				3年部会 宇川純子(塩川)				
2 指導助言者の確認									
希望する指導助言者	指導主事 塚原直樹 様				所属 会津教育事務所				
<p>1 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合 (1) 中教研事務局が一括して内諾をとります。 (2) 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。</p> <p>2 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合 (1) 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。</p> <p>3 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。</p> <p>4 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。</p>									
3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。									
【記入例】									
	9:00	9:30	10:30	11:00	11:25	11:40			
	9:20		10:40	11:05		11:30			
受付	部会開会式		休憩	部会指導助言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休憩	部会協議 (県大会参加者、二次研について)	部会閉会式	移動	調整会
【今年度の一次研の日程】									
	9:00	9:30	10:30	11:00	11:25				
	9:20		10:40	11:05		11:30			
受付	部会研究協議 (持参資料の発表及びそれについての協議)		休憩	部会指導助言 (研究協議にのみ助言をいただく)		部会協議 (県大会参加者、二次研、R6度について)	部会閉会式	移動	調整会
※指導助言者の同席時間 (9:20 ~ 11:00)									

各専門部会出席者名簿

部会名（ 理科 ） 会場校（ 坂下中 ）

【耶麻支部】

No.	氏 名	学校名
1	星 貴之	高郷
2	善澄 博	喜多方三
3	穴澤 嘉寛	喜多方一
4	吉村 憲治	喜多方二
5	森 智哉	裏磐梯
6	渡邊あおば	北塩原一
7	河原田公輝	山都
8	平佐田健太	高郷
9	和久井大輝	塩川
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏 名	学校名
1	鶴水 達也	三島
2	原田 聡	会津柳津学園
3	菅原 美保	坂下
4	佐藤 賢哉	三島
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

【県中教研主題研修報告】

理科の3つのポイント

- ① 生徒の思いや願いを起点とした単元を貫く問いやねらいを設定すること。
- ② 探究の流れに沿った構想を行うこと。
- ③ 生徒の実態から推察する重点的に取り組むべき資質・能力や各学年の重点項目を踏まえた単元構想を行うこと。

以上の3つを柱として単元構想を行う事で主体的な探究活動が行われ、科学的に探究するために必要な資質・能力を身につけさせること。

【研究推進について】

耶麻支部・両沼支部の合同で、一次研・二次研を行う。

【一次研の持ち方について】

- ・ 全員が発表を行う。内容や様式は、それぞれがやりやすい方法でよい。
- ・ 県での発表支部ではないため、自分の資質・能力向上のための研究をすること。
- ・ 両支部で1分野7名、2分野4名に分かれた。県大会参加者は、それぞれ資料の内容で決定する。1分野1名、2分野1名とする。

【その他】

- ・ 中教研を活用して、情報交換を行うことで、資質・能力向上に寄与してほしい。

一次研の運営について

【 理科 】 部会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	全員 (中)	(中)
司会者	渡邊 あおば (北塩原第一中)	(中)
記録者	河原田 公輝 (山 都 中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	理科担当・指導主事	所属 会津教育事務所
-----------	-----------	------------

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所**以外の指導主事等**を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【今年度の一次研の日程】

	9:00	9:30		10:30		11:00		11:25	11:40	
		9:20		10:40		11:05		11:30		
受付	部会開会式	部会研究協議 (持参資料の発表及びそれについての協議)		休憩	部会指導助言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休憩	部会協議 (県大会参加者、二次研について)	部会閉会式	移動	調整会

※指導助言者の同席時間 (9時20分～11時)

各専門部会出席者名簿

部会名 (音楽) 会場校 (坂下中)

【耶麻支部】

No.	氏名	学校名
1	佐藤 容子	喜一中
2	横田 美代	塩川中
3	花泉 恵里	喜三中
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏名	学校名
1	小寺 真紀	昭和中
2	新田 喜恵	本郷中
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

1. 開会 2. 自己紹介

3. 主題研 報告

学習指導要領をよく読み、授業実践する。

< 福島支部 > 。各校の実態に合わせていく。

< 伊達支部 > 。コロナ禍のため、歌唱への意欲不足が課題

< 安達支部 > 。臨時の会をもち情報交換してきた。

。言語活動において、受け入れられたいことも知る。

< 郡山支部 > 。鑑賞分野に限定

< 岩瀬支部 > 。各自で題材を選び進める

< 田村支部 > 。生演奏を好き感じたことを伝える 共感

< 東西しらかわ支部 > 。各校の実態に応じて研究を進めていく。

< 北会津支部 > 。言葉だけでなくコミュニケーションを大切にしたい。

< 相双支部 > 。ICTが異なる

< いわき支部 > 。知覚、感受したものを表現に生かすことが課題。

< 耶麻・両沼支部 > 。能動的な活動。

。たし算から計算へ 教師が教材を工夫研究

。教材分析 生徒はどのようにできると感じるか？考える。

。自分の考えが認められたいこともあることを納得させておく必要。

耶麻・両沼中学校教育研究会

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

・支部方針、自己課題解決型、大小規模校の連携

・生徒や学校の実態に応じる。

・一次研について、全員発表、7/26(水)、受付9:00～11:25

・司会 小寺 T、記録 新田 T

一次研の運営について

【 音 楽 】 部 会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	全 員 (中)	(中)
司会者	小寺真紀 (昭 和 中)	(中)
記録者	新田喜恵 (本 郷 中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	大槻 祐介	所属	附属小
-----------	-------	----	-----

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

	9:00	9:30		10:30		11:00		11:25	11:40
	9:20			10:40		11:05		11:30	
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (持参資料の発表及び それについての協議)	休 憩	部 会 指 導 助 言 (研究協議及 び進め方につ いて助言をい ただく)	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加 者、二次研に ついて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会

【今年度の一次研の日程】

	9:00	9:30				11:00		11:25	11:40
	9:20					11:10		11:30	
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 ・ 指 導 助 言 (持参資料の発表等、その後助言を いただく。)	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加 者、二次研に ついて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会		

※指導助言者の同席時間 (10:00 ~ 11:00)

< 60分間 >

各専門部会出席者名簿

部会名 (美術部会) 会場校 (会津若松市立第一中学校)

【耶麻支部】

No.	氏 名	学校名
1	岩下 千恵	喜多方一中
2	須田 磨美	喜多方二中
3	遠藤 学	裏磐梯中
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏 名	学校名
1	土橋 康弘	昭和中
2	五十嵐 章	坂下中
3	庄司 美保	高田中
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

一次研の運営について

【 美術 】 部会

1 一次研役割分担等の確認 ※場所 猪苗代中学校

発表者	全員 (中)	(中)
司会者	山口 功 (河東学園)	(中)
記録者	長谷川裕美 (若松三中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	なし	所属
-----------	----	----

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

	9:00	9:30	10:30	11:00	11:25	11:40
	9:20		10:40	11:05	11:30	
受付	部会開会式	部会研究協議 (持参資料の発表及びそれについての協議)	休憩	部会指導助言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休憩	部会議 (県大会参加者、二次研について)
					部会閉会式	移動
						調整会

【今年度の一次研の日程】 (現時点での予定です。) ※北会津支部と協議済み

	13:00	15:30	16:30
受付	部会開会式	研究協議	見学等
			部会閉会式
			移動
			調整会

※指導助言者の同席時間 (~)

各専門部会出席者名簿

部会名 (保健体育) 会場校 (坂下中学校)

【耶麻支部】

No.	氏 名	学校名
1	新井古川三枝子 新鶴中	新鶴中
2	塩川 健二	西会津中
3	笹 康頼	高郷中
4	佐久間 唯	北塩原一
5	目黒 彩奈	喜多方一中
6	長峰 悠真	山都中
7	河西 孝浩	塩川中
8	佐藤 大志	喜多方三中
9	古川 貴仁	裏磐梯中
10	馬場 亮太	会北中
11	斎藤 一範	裏磐梯中
12	小野 里武	喜二中
13	渡部 泰子	〃
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏 名	学校名
1	古川三枝子	新鶴中
2	仙波 修哉	金山中
3	小椋 祐希実	昭和中
4	林 静	
5	五十岡 真由美	坂下中
6	記野 友晴	/
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

・耶麻支部長あいつ

・両沼支部長あいつ

<報告会>

研究主題

→生徒にASKと、知識的の何か

副主題 ... 協働的学習とは

① 既習事項を先かすとは ... 前時・課題と対応も

反省

↓
課題解決

本時の課題をきっかけとは...

- ・ICT機器
- ・学習カード
- ・教材・場づくりなど

・形式にそってまとめる → 各校へ形式を送る

↳ 各校一研究 ... まとめて発表など

○ 一次研 ... 各校一研究発表

司会者 ... 小野里 武 (喜=中)

記録者 ...

10/25 二次研の持ち方

- ・ICT(タブレット)の利用方法
- ・ストラクチャー教室

- ・7-7ブロック編集員
- ・渡部 泰子 (喜=中)
- ・立川 三枝子 (新鶴中)

一次研の運営について

【 保健体育 】 部会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	各校一研究 (中)	(中)
司会者	小野里 武 (喜二 中)	(中)
記録者	渡部 泰子 (喜二 中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	佐藤 雅司	所属	会津教育事務所
-----------	-------	----	---------

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所**以外**の指導主事等を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

9:00	9:30	10:30	11:00	11:25	11:40				
9:20		10:40	11:05	11:30					
受付	部会開会式	部会研究協議 (持参資料の発表及びそれについての協議)	休憩	部会指導助言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休憩	部会協議 (県大会参加者、二次研について)	部会閉会式	移動	調整会

【今年度の一次研の日程】

9:00	9:30						
9:20							
受付	部会開会式	同上			部会閉会式	移動	調整会

※指導助言者の同席時間 (9:00 ~ 11:00)

各専門部会出席者名簿

部会名 (技術・家庭科部) 会場校 (湯川村立湯川中学校)

【耶麻支部】

No.	氏名	学校名
1	佐瀬千穂	高郷中学校
2	佐藤 純一	会北中学校
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏名	学校名
1	小野寺 光喜	湯川中学校
2	橋 健一	”
3	北見 清	金山中
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

県中教研主題研修報告会要項

進行：総務（事務局）湯川中教頭

1 開会のことば（進行）

2 部長あいさつ

・人数少ない中ではあるが、協力して進めたい。

3 自己紹介

4 協議内容

(1) 県中教研総会、専門部会の報告

・今年度の県大会 技術 磐崎中
家庭 内郷一中

別紙要項の通り

R6年度 いわて県大会 技術 平二中
家庭 泉中

(2) 県主題研修会の報告

・要項 P14~を参考にす。

(3) 研究推進について

技術分野 県大会発表が当っている。
木才米斗と加工の技術

(4) 一次研の持ち方について

技術比合津中の木村 教頭先生
家庭 高根中の佐瀬

} オンライン
とらえる

7

(5) その他（情報交換等）

5 その他

6 閉会のことば（進行）

一次研の運営について

【技術・家庭科】 部会 ← <i>※ 部長様の了承です</i>									
1 一次研役割分担等の確認 <i>※ 全会津支部(北南会津支部との合同)での</i>									
発表者	全会員 (A4枚程度資料) 中)	オンラインによる開催 中)							
司会者	坂馬場 宏昌 (南会津 中)	坂馬場 幸恵 (南会津 中)							
記録者	坂小野寺 光喜 (塩川 中)	家塚 由起子 (田島 中)							
2 指導助言者の確認 <i>※ 世話役 技: 佐藤 純一 (会北中)、家渡 節子 (南会津中)</i>									
希望する指導助言者	無し	所属							
1 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合 (1) 中教研事務局が一括して内諾をとります。 (2) 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。									
2 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合 (1) 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。									
3 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。									
4 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。									
3 一次研の持ち方について <i>※原則午前中のみの開催とします。</i>									
【記入例】									
9:00	9:30	10:30	11:00	11:25	11:40				
9:20		10:40	11:05	11:30					
受 付	部 会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (持参資料の発表及びそれについての協議)	休 憩	部 会 指 導 助 言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加者、二次研について)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会
【今年度の一次研の日程】 <i>※ オンライン</i>									
9:00	9:30		11:00	11:25	11:40				
9:20			11:05	11:30					
受 付	部 会 開 会 式			部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会			
※指導助言者の同席時間 ()									

各専門部会出席者名簿

部会名 (英語) 会場校 (湯川中)

【耶麻支部】

No.	氏名	学校名
1	佐藤 江子	喜二中
2	新田 司	山都中
3	辻川 淳子	喜一中
4	小田切 緑子	北塩原一中
5	伏原 健一	喜三中
6	江川 みさ	高郷中
7	内海 淳	西会津
8	清野 博史	塩川中
9	鈴木 雅彦	北塩原一中
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏名	学校名
1	坂口 伸	高田中
2	星 佳子	高田中
3	齋藤 文菜	高田中
4	星 邦章	昭和中
5	渡部 麻子	湯川中
6	小柴 辰之	三島中
7	鈴木 智子	坂下中
8	永井 靖子	本郷中
9	佐藤 理恵子	坂下中
10	阿部 真代	"
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

1. 開会の言葉

(湯川中) 及5. 5. 22. 15:00~

2. 部長あいさつ 坂口先生: 県大会(昨年)ハイライト. ありのまじりごさいりて

今年は. 北会と県大会. お手合い取付け高お酒い.

- 耶麻両沼合同開催 県から許可のありて. 決積から
- 来年度からの運営について. 後ほど話し合ひ.
- ワークブック編集. 今年は. 両支部各1名.
- 一次研. 7/26(木)
- 県英弁 9/14(木) 県大会. かわき. 10/5(木)

3. 会員自己紹介

4. 協議

(1) 主題研報告. (別紙参照) イングリッシュコミュニケーションの流れで.

・指導過程の工夫について? - その中で. 特にP4①. ②について. 紹介して見てはどうか! と.

・形成・再構築といふ... 2回の言語活動を大切に. 1回めを見直し2回めへ. その活動を. どんな活動をあそび. といふ事.

・指導^画程全体の工夫をみる.

◎ A4 1枚 (ひき出しは表裏). 授業に実践. その成果と課題を.

一次研に持ち寄り. (25部)

(このから. やってみたい... について. やってみたい)

(2) 第1次研の持ち方について. (別紙P26参照)

・今年は耶麻地区で1次研. (7/26(木))

・指導即言者. 会津教育事務所. 木村先生. で.

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

* 司会: 佐藤^{喜多} (興三中) 記録: 江川 (高郷中)

* 11:05 ~ の協議は、英弁について記入。

* 研究協議は、3つの学年の分科会で行う。→ 共通理解 → 指導即言の流れ。
資料は、25部用意あり。

(3) 中教研事業について。(26年度以降について)

英弁について下. しぼりし. B12に行う。

5. 支部ごとの協議。(各支部)

~~その他.~~

＜鈴木先生より＞

◎ 研究内容について - 指導過程の工夫 - はどういふところで行えばいいか?

・ イングリッシュコミュニケーションの (P3) 学習過程の作りを参照
4技能5域の~~中~~で. 流れのなかで. どの位置におくか. その年課
CAN-DO の何でできているか。
(活動と指導過程のどこにおくか)。

・ 1単位時間の中に、どう動く活動と、どう動く位置付けで行うか。

効果的にできか。

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

6. その他.

・一次研-各科目会.司会.記録は.耶麻支部にお願い.

7. 閉会の言葉.

一次研の運営について

【 英 語 】 部 会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	全員発表（耶麻・両沼会員19名）
司会者	佐藤 健一（喜多方三中）
記録者	江川 みさ（高郷中）

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	指導主事 木村 真 様	所属：会津教育事務所
-----------	-------------	------------

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

9:00	9:30	10:30	11:00	11:25	11:40				
9:20		10:40	11:05	11:30					
受付	部会開会式	部会研究協議 (持参資料の発表及びそれについての協議)	休憩	部会指導助言 (研究協議及び進め方について助言をいただく)	休憩	部会協議参加者、二次研について	部会閉会式	移動	調整会

【今年度の一次研の日程】

9:00	9:30	10:20	10:45	12:00			
9:20		10:25	10:50				
受付	部会開会式	【英語部会】研究協議 (持参資料の発表と協議)	休憩	【英語部会】指導助言 (協議・研究推進について)	休憩	支部に分かれての協議 (英語弁論大会運営、県大会参加者、二次研等について)	支部毎に閉会

※指導助言者の同席時間（9:30～10:45）1時間15分

耶麻・両沼中教研道徳部会県主題研修報告会

日時：令和5年5月22日（月）

15：00～

場所：会津坂下町立坂下中学校

1 出席者

(1) 耶麻支部

園部 毅（西会津町立西会津中学校）
齋藤 英子（喜多方市立塩川中学校）
目黒 奈津子（喜多方市立第一中学校）
大内 みのり（北塩原村立第一中学校）
佐藤 幸枝（喜多方市立会北中学校）

(2) 両沼支部

川島 淳（会津美里町立本郷中学校）
小坂 ひろみ（柳津町立会津柳津学園中学校）
西田 さおり（会津坂下町立坂下中学校）
鈴木 里奈（金山町立金山中学校）

2 主題研修報告会記録

(1) 5月11日（木）西会津中 園部毅校長先生出席

(2) 令和5年度研究主題・副主題について

- ① 「自己を振り返る」とは？
 - これまでの自分の振り返り。
 - 学んだことの振り返り。
 - 他者の発表を聞いての振り返り。 など
- ② 「よりよい生き方について考えを深める」とは？
 - 自分に置き換えて考える。
 - 自分の生活を振り返って良さや課題を把握する。

(3) 副主題に迫るために

- ① 対話が深まる話し合いの工夫を図る。
- ② 書いたり発表したりする活動を取り入れる。

(4) 指導法の工夫例

- ① 協働的に議論させる指導の工夫…演じる、気持ち柱などによる可視化
- ② 発言の予想と問い直しを考えておく。
- ③ 板書を生かす工夫。
- ④ 生徒の内面の変容を視覚的に振り返らせる板書の工夫。

3 研究推進について

- (1) 問題意識をもち、自分のこととして考えることのできる工夫。
- (2) 感じたり、考えたりしたことの根拠や理由を明らかにする工夫。
- (3) 賛同や相違の意見を交流するような、協働的な議論とする工夫。
- (4) 自己を振り返り、考えを深めることのできる工夫。

4 一次研のもち方

- (1) 各学校において、研究主題、副主題のもと授業実践（実践試案）等を持ち寄り、その成果や課題、工夫した点を協議する。形式は自由とする。
- (2) 指導助言者は会津教育事務所指導主事に依頼する。

- (3) 各学校の道徳教育の工夫についても共有していく。
- (4) 会場は耶麻支部の学校。

各専門部会出席者名簿

部会名（ 特別活動 ） 会場校（オンライン）

【耶麻支部】

No.	氏 名	学校名
1	田代 茂	塩川中
2	平井 正巳	塩川中
3	坂井裕美子	喜多方三中
4	柳沼 勝	喜多方一中
5	長谷川詩織	高郷中
6	佐瀬 大地	西会津中
7	眞田 萌花	喜多方二中
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

【両沼支部】

No.	氏 名	学校名
1	野口 幸哉	金山中
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

主題研修報告会記録

※できるだけ簡略化すること

1	開会
2	部長挨拶 野口 幸哉 両沼部長
3	協議
(1)	主題研修会報告 田代 茂
	・ 県中教研総会・県特別活動専門部総会報告
	・ 研究推進について報告
(2)	質疑・応答
	・ 「集団活動への参画」の集団とは、委員会活動や生徒会活動も含まれると 考えてよいか。
	学級以外にも、学年、生徒会、委員会といった様々な集団が存在するので その中での、実践でもよいと考える。
(3)	支部専門部研究推進
	① 各校で研究推進を行う。
	② 1次研の持ち方 別紙
(4)	その他
	・ 生徒会交歓会について 7月31日(月)
4	閉会

一次研の運営について

【 特別活動 】 部会

1 一次研役割分担等の確認

発表者	全 員 (中)	(中)
司会者	平井 正巳 (塩 川 中)	(中)
記録者	柳沼 勝 (喜多方一中)	(中)

2 指導助言者の確認

希望する指導助言者	先生	所属 会津教育事務所
-----------	----	---------------

- 会津教育事務所の指導主事を指導助言者として依頼する場合
 - 中教研事務局が一括して内諾をとります。
 - 会津教育事務所の指導主事の内諾の可否について、後日、中教研事務局より各部長に連絡します。
- 会津教育事務所以外の指導主事等を指導助言者として依頼する場合
 - 各専門部長が電話等で、依頼する指導主事等に内諾をとってください。
- 中教研事務局が指導助言者所属に「講師派遣申請」を行います。
- 指導助言者の旅費は、中教研事務局で負担します。

3 一次研の持ち方について ※原則午前中のみ開催とします。

【記入例】

	9:00	9:30		10:30		11:00		11:25	11:40
	9:20		10:40		11:05		11:30		
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (持参資料の発表及び それについての協議)	休 憩	部 会 指 導 助 言 (研究協議及 び進め方につ いて助言をい ただく)	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加 者、二次研に ついて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会

【今年度の一次研の日程】

	9:00	9:30		10:30	10:40	11:00	11:05		11:25	11:40
	9:20		10:40		11:05			11:30		
受 付	部会 開 会 式	部 会 研 究 協 議 (持参発表・協議)	休 憩	部 会 指 導 助 言	休 憩	部 会 協 議 (県大会参加 者、二次研に ついて)	部 会 閉 会 式	移 動	調 整 会	

※指導助言者の同席時間 (9 : 2 0 ~ 1 1 : 0 0)